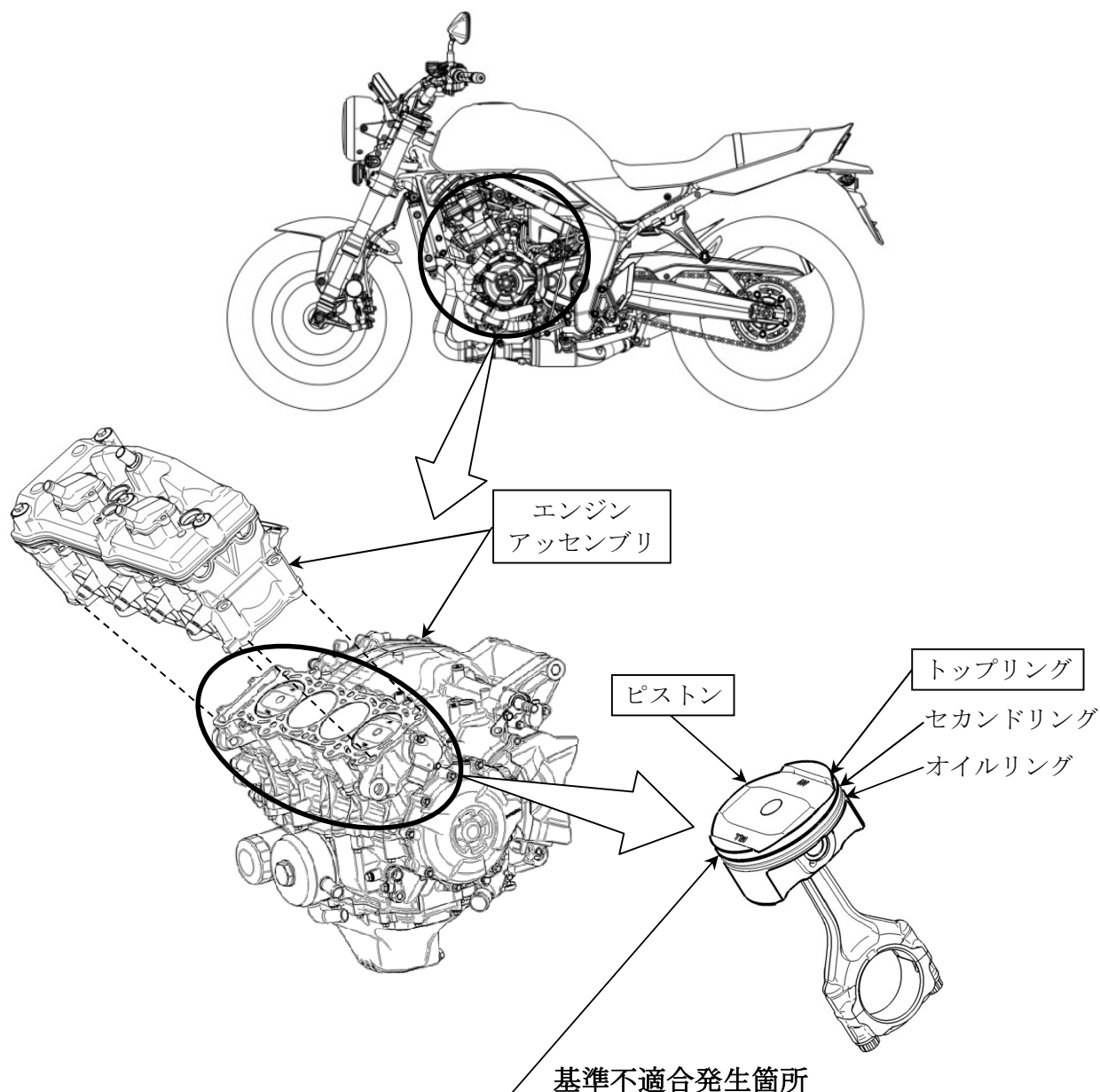


改善箇所説明図



原動機において、ピストン及びトップリングの設計が不適切なため、ピストンとトップリングの隙間が広く、エンジンが高回転の状態からエンジンブレーキによる減速を繰り返すと、エンジンオイルが燃焼室まで吸い上げられて燃焼し、オイル消費量が増えることがある。そのため、オイルの潤滑不良で異音が発生し、そのまま使用を続けると、走行中にエンジンが破損し、後輪がロックして転倒する、または、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、ピストン及びトップリングを対策品と交換する。また、エンジンを点検し、異音がある場合はエンジンをアッセンブリで交換する。

注： は点検又は交換する部品を示す。

識別：車台番号打刻部付近に白色四角の識別ラベルを貼付する。